



議会からのたより

第3回臨時会

5月14日の1日間を会期として開催し、報告3件、議案2件を原案どおり承認、可決し、閉会しました。

行政報告

◆遠別町屋内こども遊戯場・テレワーク施設「とんがりかん」の利用状況

報告

- ◆専決処分の承認（遠別町税条例の一部改正）
- ◆専決処分の承認（遠別町過疎地域における固定資産税の免除に関する条例の一部改正）
- ◆専決処分の承認（令和5年度遠別町一般会計補正予算（第11号））



審議事項

◆工事請負契約の締結（旧国保病院解体工事）
契約金額 2億3,650万円

契約の相手方
道北・堀松・共栄
特定建設工事共同企業体

主な補正予算

【一般会計】

◆遠別・キャッスルガー青少年相互訪問事業補助金
300万円 増

第4回定例会

6月7日から6月10日の4日間を会期として開催し、報告1件、条例改正5件、補正予算2件、意見案5件、発議1件の合計14件の議案が提案され、原案のとおり可決し、会期を3日間残し閉会しました。一般質問は、國部議員、山本議員の2名が行いました。

行政報告

- ◆令和5年度各会計の決算概況
- ◆令和6年度国及び道所管の事業概要
- ◆遠別農業高等学校海外研修地の変更

◆第44回北海道中学生バレーボール選抜優勝大会結果及び第44回全日本バレーボール小学生大会北海道大会出場

報告

◆繰越明許費繰越計算書

審議事項

- ◆遠別町健康管理センター設置条例及び遠別町母子健康センター条例の廃止
- ◆遠別町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ◆遠別町指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部改正

◆遠別町指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の一部改正

◆遠別町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営等に関する基準を定める条例の一部改正

質問

問 改正内容に「身体的拘束等の基準及び適正化の追加」とあるが、基準の内容は？

答 「当該利用者又は他の利用者等の生命又は身体を保護するため緊急やむを得ない場合を除き、身体的拘束その他利用者の行動を制限する行為を行ってはならない」となっている。

問 改正内容の「重要事項のウェブサイトへの掲載」について、いつからの掲載になるのか？

答 条例議決後から原則掲載していただく。

問 ウェブサイト掲載は町が行うのか？事業所が行うのか？

答 事業所が行う。これまでの重要事項については施設内の掲示となっていた。これを各事業所が持つホームページ等に掲載していただく。また、国のほうの一覧に事業者名を登録いただければ、ウェブサイトへの掲載ということになる。

主な補正予算

【一般会計】

- ◆物価高騰対応重点支援金システム導入業務委託料 166万5千円 新規
- ◆物価高騰対応重点支援金 2,850万円 新規
- ◆戸籍情報・戸籍附票システムデータクレンジング業務負担金 184万8千円 新規
- ◆児童手当システム改修業務委託料 159万5千円 新規
- ◆全日本バレーボール小学生大会北海道大会出場補助金 77万1千円 新規

【診療所特別会計】

- ◆家電・家具レンタル料 66万2千円 新規

意見案

- ◆令和6年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◆地方財政の充実・強化に関する意見書
- ◆義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元・教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ◆道教委「これからの高校づくりに関する指針」を見直し、すべての子どもにゆたかな学びを保障する高校教育を求める意見書
- 以上4件
- ◆提出者 山本議員
- ◆賛成者 白井議員、國部議員
- ◆ゼロカーボン北海道の実現に資する森林・林業・木材産業施策の充実・強化を求める意見書
- ◆提出者 國部議員
- ◆賛成者 山本議員、白井議員
- ◆意見案は6月7日の議会定例会で採択され、国の関係機関に送付した。

議会を傍聴してみませんか

詳しくは
テレビ電話でご確認ください。

次の定例会は **9月9日頃** の開催予定です。

議会を議場で傍聴された方には、
行政サービスポイント 200ポイントが付与されます。

【お問い合わせ】
議会事務局
電話 7-2147 (直通)

メール gikai@town.embetsu.hokkaido.jp



町政を問う

第 4 回 定例会「一般質問」

か確認させていただきたい。

答 任期中にできるかどうかということについてはいろいろな状況の判断もしなければいけないというふうに思っている。危機感についてはご理解いただいているかと思っている。ただ、私がすぐできるかどうかということよりも、いろいろな産業があるが、漁業にしても農業にしても各経済団体がそれぞれその承継の対応をして、その中でどうするかということをして行政に投げかけてきて、対応しているという経緯がある。だから、商工会として事業を止めようという方がいた時に、なぜ辞めるのか、どうしたら続けられるのかということも、十分当事者と協議をした上で、どういった対応をしなければならないのか、どういった対応が必要なのかということ、やがて表に出てくると思うので、やはり商工会として行政に対する問いかけや要請という形になるのが一番良いのかと思っている。

要ではあるが、現存する事業を存続させることが重要であり、また早道であると考ええる。現在行っている起業化支援事業の要綱に事業継承への適用を盛り込み、後継者不足で閉じてしまう事業者を減らすきっかけとなるような施策が必要と考えるが、町長の考えを伺う。

答 日本全体が少子高齢化の影響により人口減少が進み、

当町においても人口戦略会議で公表されたとおり、消滅可能性自治体に分類されたところであり、人口減少対策、持続可能なまちづくりをさらに進めていかなければならないものだと認識をしているところであり、商工業を含めた産業の衰退を食い止める施策が重要であると考えている。当町においては平成 27 年に人口減、地域活性化対策として起業化支援事業を創設し、これまでに 6 件の事業者が新たな起業をし、商工業の発展に一定の効果があるものと考えている。事業承継

に係る支援については、起業化支援事業の要綱に盛り込むことは現在のところは考えていないが、ご質問のとおり暮らしやすいまちづくり、商工業の発展は、行政だけでは実現することは難しく、一歩身近で各事業者の経営内容等を把握している商工会とどのような施策が必要なのか、十分協議をしながら進めていく必要があると考えているので、ご理解願いたい。

再質問

問 人口減少対策、持続可能な

まちづくりをさらに進めていかなければいけない、商工業を含めた産業の衰退を食い止める施策が必要であるという危機感を感じており、対策を打たなければならぬとも言っている。この部分は共通認識を持っていることが確認でき、心強く考えている。商工会と十分協議しながら進めていく必要があると言及されているが、任期中にこの協議に着手する意思がある

問 起業化支援事業に事業承継への適用が必要ではないか？

答 商工会と協議しながら進めていくことが必要。



問 日本全体が少子高齢化の影響で人口減少に転じている現在、この遠別町においても人口減少に歯止めがかかっていない。流出を防ぐために暮らしやすいまちづくりを目指す必要がある。暮らしやすいまちづくりは行政だけでは実現することとは難しく、民間の力が必要だと考える。民間業者の経済活動が暮らしやすさにつながっている。しかしながら、人口減少では最も影響を受けるのが商工業である。商工業者数は人口減少に比例するように減少している。商工業者の減少は住みづらさにつながり、住みづらさは人口流出につながるといふ悪循環を引き起こす。商工業の衰退を食い止めるためには、新規開業も重

山本議員 **問** 認知症について本人や家族介護者へのサポートは怎么样了なっているか？

笹川町長 **答** 現在のサポート体制と共に、新たな取組を実施していく。



問

我が国は世界に類を見ない物凄いスピードで高齢化が進んでいる。極めて深刻な問題は、いわゆる団塊の世代の方々が、後期高齢者となる来以降、さらに増えると予想されており、一番大変なのは本人よりも家族の介護疲れだと言われている。一方で認知症の理解不足による偏見は根強く、家族の孤立化も問題になってきている。認知症は誰もがなり得るものであり、家族や身近な人が認知症になることなどを含めて、多くの人のため身近なものとなっている。認知症になっても安心して暮らせる町にするため、住み慣れた場所で暮らすたいけるよう、認知症の早期発見と支援体制の構築が必要だと考える。本町では認知症を理解してもらったためにどのようなことを行っているか。家族介護者支

援並びに本人への認知症サポートはどのようなようになっているのか。

答

「共生社会の実現を推進するための認知症基本法」が施行され、支援を進めているところである。本町における認知症理解のための事業として、地域支え合いサロン等の各種教室や老人クラブ等での認知症予防の講話や健康相談を行うとともに「認知症地域支援推進員」による総合相談、具体的な認知症の相談時には認知症ケアパスを作成し、ご家族等には認知症の理解を深めていただいている。ご苦労されている家族や認知症本人をサポートするための事業として、認知症サポーター養成講座の開催、認知症初期集中支援チームの設置など、地域包括支援センターを中心に居宅介護支援事業所等と連携し、家族や本人へのサポートを行っているところである。高齢者の見守りが必要な場合、地域包括支援センター相談協力員と情報共有し、地域全体での見守り体制を構築し、警察・消防と連携

し、認知症等による徘徊高齢者の SOS ネットワーク事業を展開し、対象者の登録と徘徊事案発生時の捜索を行えるよう体制を整えている。また、本年度は新たな試みとして、民間事業者とともに、認知症予防プログラム・予防講座の実施を予定している。

再質問

問

高齢者の見守りの取り組みで、地域における日常生活の中でさりげない見守りが必要だと私は思っているが、この辺について答弁いただきたい。また、認知症予防プログラム・予防講座の内容を伺う。

答

(笹川町長) 潜在的な認知症になっていくような状況のある方もいるという状況の中で、予防プログラム等も実施を予定しているところであり、今後とも、いろんな方々のご協力をいただいで、安心して住める街にしていきたい。(小林住民課長) 認知症予防プログラム・予防講座ということで、一つは脳トレを用いたプロ

グラム、もう一つは筋トレを中心とした講座を予定している。

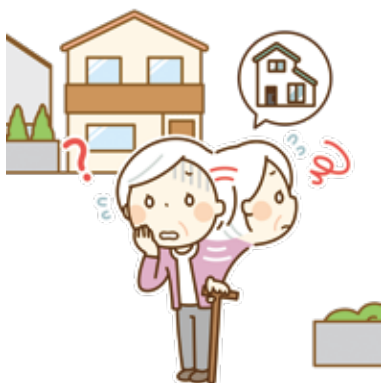
再々質問

問

認知症のケアパスはどのような体制で行っているのか最後に伺う。

答

(小林福祉課長) 認知症の方の様子が時系列ではないが、初期段階、軽度、中度という流れで大体なってくるので、その中で相談できる場所、必要なサービス、この辺の段階ではこういったものが必要、というようなものを表にしてお渡しして、ご家族の方とこの段階なのでこういったことが必要なのではないかということでご家族の方にご理解いただいているものである。



議会全員協議会
(協議議題)

- ◆ 6月7日開催
- ・遠別町地域公共交通計画の策定

第5回臨時会

7月17日の1日間を会期として開催し、議案1件を原案どおり承認、可決し、閉会しました。

行政報告

- ◆ 留萌管内中学校校体育大会結果及び遠別町バレーボール少年団の全道・全国大会の出場について

主な補正予算

【一般会計】

- ◆ 中学校全道大会出場補助金 144万4千円 新規
- ◆ 北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会出場補助金 69万2千円 新規
- ◆ 全日本バレーボール小学生大会全国大会出場補助金 281万6千円 新規

全道町村議会議員研修会

7月2日札幌コンベンションセンターで、北海道町村議会議員研修会が開催され、遠別町から議員8名、事務局職員1名が出席しました。

講師は気象予報士の森朗氏による「札幌が東京より暑くなる!? ～加速する気候変動～」並びに、元衆議院議長の大島理森氏による「人口減少と市町村の重要性・民主主義について自省を含めての所感」と題し講演されました。

温暖化による1次産業の影響や、地方自治体の重要性を再認識でき、大変参考になる研修会となりました。



全道町村議会議員研修会

札幌ふるさと遠別会50周年記念会

7月6日、ホテルポールスター札幌で札幌ふるさと遠別会50周年記念会が盛会に開催され、遠別町から笹川町長、議員3名(國部副議長、白幡議員、山下議員)、町職員1名、計5名が出席しました。会員は吉田武好会長はじめ、40名が出席しました。

新型コロナウイルス感染拡大防止により4年間の休会を経ての開催ともあり、遠別町を想い、ふる里を大切にする気持ちがとても強く感じられ、遠別町の昔話や近況などの話で盛り上がりました。



札幌ふるさと遠別会

紙面の都合上、質問及び答弁の内容を議会報発行特別委員会の委員で要約し、掲載しております。本会議の詳細の内容は、会議録をホームページで公開しておりますのでそちらをご覧ください。

会議録ホームページ URL

<http://www.town.embetsu.hokkaido.jp/docs/2023080700019/>



議会の主な動き (令和6年5月～令和6年7月)

5月	6月	7月
13日 遠別商工会通常総会	2日 北留萌消防組合遠別消防団春季消防演習	2～ 北海道町村議会議員研修会 3日 (札幌市)
14日 第3回遠別町議会(臨時会)	5日 一般道道名寄遠別線促進期成会定期総会(名寄市)	5日 第5回議会報発行特別委員会
14日 留萌管内町村議会議長会定期総会(羽幌町)	7日 第4回遠別町議会(定例会)	6～ 札幌ふるさと遠別会50周年記念会(札幌市)
20～ 町村議長会議長・副議長 22日 研修会(東京都)	第4回議会全員協議会	17日 第5回遠別町議会(臨時会) 第2回総務産業常任委員会
23日 留萌地域総合開発期成会定期総会(マナピィ・21)	11～ 北海道町村議会議長会第75回定期総会・議長・ 12日 事務局長研修会(札幌市)	20日 留萌駐屯地創立71周年記念行事(留萌市)
24日 第2回議会運営委員会	留萌管内町村議会議長会臨時総会(札幌市)	26日 第6回議会報発行特別委員会
	24～ 留萌地域総合開発期成会要望活動(留萌市、札幌市、東京都)	

議員出席状況

令和6年5月1日～令和6年7月31日

区分 議員名	定例会・臨時会						常任委員会等			特別委員会			合計			出席率 (%) ⑥/⑤							
	開催日数 ①	出席内容			欠席内容			総務産業 1	議会運営 1	全員協議会 1	議会報発行 2	予算審査	開催日数合計 ①+③ ⑤	出席日数合計 ②+④ ⑥	欠席日数 合計								
		全日出席	遅刻	早退	出席日数計 ②	慶弔	病欠										その他	出席内容			欠席内容		
																		全日出席	遅刻	早退	出席計 ④	慶弔	病欠
小森 嘉孝	3	3			3						2	2			5	5	0	100.0%					
橋本 初昭	3	3			3						2	2			5	5	0	100.0%					
大石 幸夫	3	3			3						2	2			5	5	0	100.0%					
白井 金治	3	3			3						4	4			7	7	0	100.0%					
山本 仁美	3	3			3						2	2			5	5	0	100.0%					
白幡 広喜	3	3			3						4	4			7	7	0	100.0%					
山下 悟	3	3			3						4	4			7	7	0	100.0%					
國部 雅人	3	3			3						4	4			7	7	0	100.0%					

あしがき (山下委員長)

新型コロナが5類になってから1年が過ぎました。ようやく日常が戻り、ほっと胸をなでおろす日々です。本年は例年のイベントのほかに多数のイベントが開催されると聞いています。コロナを忘れられるくらいのイベントで楽しみます。話は変わりますが、世界に目を向けるとウクライナと日本の関係性、トランプ前大統領の暗殺未遂など色々と考えさせられる事案が起きています。目まぐるしい世界情勢に歴史の転換機だと感じてしまいます。願わくば平和で安心して暮らせる世の中になってほしいものです。



発行：遠別町議会
編集：議会報発行特別委員会
委員長 山下 悟
副委員長 白井 金治
委員 白幡 広喜
委員 國部 雅人